

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-252988

(43)Date of publication of application : 09.09.1994

(51)Int.Cl.

H04M 1/00

H04B 7/26

H04M 1/53

H04M 1/64

(21)Application number : 05-063057

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing : 26.02.1993

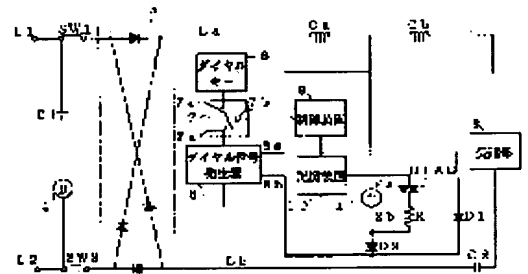
(72)Inventor : KATAOKA OSAHISA

## (54) TELEPHONE SET

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To execute an answer by a voice message registered in advance, in the case it is impossible to answer by a voice by a state of the periphery, such as in the course of conference and in an electric train, etc.

**CONSTITUTION:** In the main body of a wired or radio telephone set 1, a storage device 10 for recording various voice messages is provided. When by receiving a telephone call, a transmitter's voice is listened to through a receiving part 3, and its answer is executed without uttering a voice, a changeover switch 7 is switched on a controller 9 side. Subsequently, when a specific key of a dial key 6 is operated, a selected voice message is outputted from the storage device 10, and its voice can be returned to the other party side. Also, at the time of sending out an ordinary dial code, the changeover switch 7 is switched on a dial signal generator 8 side.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-252988

(43)公開日 平成6年(1994)9月9日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 M 1/00		M 7117-5K		
H 0 4 B 7/26	1 0 9	H 7304-5K		
H 0 4 M 1/53		7190-5K		
1/64		D 7190-5K		

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平5-63057

(22)出願日 平成5年(1993)2月26日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 片岡 長久

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

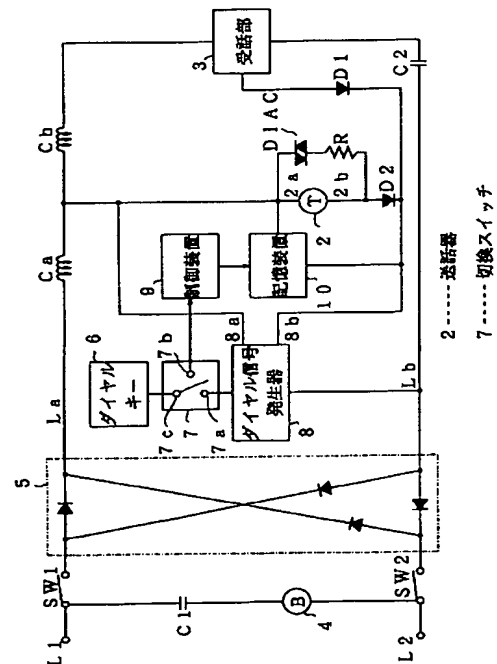
(74)代理人 弁理士 岡本 宜喜

(54)【発明の名称】 電話機

## (57)【要約】

【目的】 会議中や電車の中等、周囲の状況から声を出して応答できない場合、予め登録した音声メッセージで応答できるようにすること。

【構成】 有線又は無線の電話機1の本体内に、各種の音声メッセージを登録する記憶装置10を設ける。電話がかかり、受話部3を介して発信者の音声聞き、その応答を声を出さずに行う際、切換スイッチ7を制御装置9側に切り換える。次にダイヤルキー6の特定キーを操作すると、選択された音声メッセージが記憶装置10から出力され、その音声を相手側に返送することができる。又通常のダイヤル符号を送出するときには、切換スイッチ7をダイヤル信号発生器8側に切り換える。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ダイヤル符号を入力するダイヤルキーと、ダイヤル信号を発信するダイヤル信号発生器と、各種の音声メッセージを記憶する記憶装置と、前記記憶装置に読出制御信号を出力する制御装置と、前記ダイヤルキーの信号が入力され、その信号を前記ダイヤル信号発生器又は前記制御装置に切り換える切換スイッチと、を具備することを特徴とする電話機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ダイヤルキーの操作により予め記憶させた音声メッセージを電話中に出力することのできる電話機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】最近、携帯電話の普及は著しく、それに伴い携帯電話があらゆる所で利用されるようになった。携帯電話は所有者の居場所に無関係に着信し、例えば電車の中や、打ち合わせ中の会議室等のように、周囲の状況から声を出し難い場所にも着信する。このため周囲の環境に応じて、キー操作だけであらかじめ登録した音声メッセージを通話中に出力できる電話の実現が望まれている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の有線電話や無線電話（携帯電話）には、例えば短縮ダイヤルのように、キー操作により予め記録させておいた電話番号を読み出し、電話回線にそのダイヤル信号を出力するものがある。又バンキングシステムや券売システムのように、特定の相手と予め決められた方法でダイヤル信号を送出し、着信側のコンピュータを介在させ、振込処理の手続きや切符の自動予約を行える電話がある。これらの場合、発信側の電話機から着信側に対しダイヤル信号を送出するが、言葉で直接に自動応答させるものではない。

【0004】本発明はこのような従来の問題点に鑑みてなされたものであって、電話機の受信者が周囲の状況から声を出して応答できない場合、キー操作により音声応答もできる電話機を実現することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、ダイヤル符号を入力するダイヤルキーと、ダイヤル信号を発信するダイヤル信号発生器と、各種の音声メッセージを記憶する記憶装置と、記憶装置に読出制御信号を出力する制御装置と、ダイヤルキーの信号が入力され、その信号をダイヤル信号発生器又は制御装置に切り換える切換スイッチと、を具備することを特徴とするものである。

【0006】

【作用】このような特徴を有する本発明によれば、着信時に発信側と声を出して会話できない場合、切換スイッチをダイヤル信号発生器側から制御装置に切り換える。

2

次にダイヤルキーを操作し、特定のダイヤル符号を入力する。そうすると制御装置は記憶装置に読出制御信号を与え、記憶装置は特定の音声メッセージを出力する。一方、電話をかけたり、接続相手の機器にデータを送出する場合、切換スイッチをダイヤル信号発生器側に切り換え、ダイヤル信号を発信する。こうすると周囲の状況から声を出して応答できない場合にも、キー操作により音声応答ができる。

【0007】

10 【実施例】本発明の一実施例における電話機について図1を参照しつつ説明する。本図において電話機1は端子L1、L2に接続されている。電話機1の送受器には送話器(T)2と、受話器(R)を含む受話部3が設けられている。フックスイッチSW1、SW2は電話機1の本体に設けられたスイッチであり、送受器をとるとオンとなる。又端子L1、L2間にコンデンサC1とベルコイルを含むベル(B)4が直列に接続されている。

20 【0008】次に破線で示す全波整流回路5は4つのダイオードが夫々ブリッジ結線された回路である。全波整流回路5は、端子L1、L2を介して入力される極性の変化するライン電圧を、一定極性の直流電圧に変換して電話機1の本体回路部に供給する。ダイヤルキー6は複数のキーにより構成され、数字及び文字を含む符号を入力するもので、各キーの接点の開閉信号を出力する回路である。切換スイッチ7はダイヤルキー6の開閉信号を入力し、ダイヤル信号発生器8又は制御装置9側に開閉信号を切り換えるスイッチである。ダイヤル信号発生器8はダイヤルキー6の各キーに対応したトーンパルスを発振する回路であり、出力端子8aは送話器2の端子2aに接続される。切換スイッチ7は2つの切換端子7a、7bと共通端子7cを有し、共通端子7cが切換端子7aに接続されると、電話機1は通常のダイヤル信号を発生し、切換端子7bに切り換えられると電話機1は制御装置9を介し音声メッセージを出力するものとする。

30 【0009】次に端子L1は、フックスイッチSW1とダイオードを介しラインLaに接続され、ラインLaが電話機回路部の正側のラインとなる。ラインLaにはコイルCa、Cbの直列接続体が設けられている。一方、端子L2は、フックスイッチSW2、ダイオードを介してラインLbに接続される。このラインLbは電話機回路部のアース側となる。受話部3の一端はコイルCa、Cbを介してラインLaに接続され、他端はコンデンサC2を介してラインLbに接続される。又受話部3の一部の端子はダイオードD1を介してダイヤル信号発生器8の端子8bに接続される。

50 【0010】さて、送話器2はその両端にダイオードACスイッチDIACと抵抗Rが直列に接続され、正側の端子2aは後述する記憶装置10及びコイルCa、Cbの共通接続端に接続されている。又負側の端子2bはダ

イオードD2を介しダイヤル信号発生器8の端子8bに接続されている。ここでコイルCa、Cbは、送話器2から出力される音声信号が受話部3内の受話器Rに出力される音声レベルを規制するブースタ回路の一部を構成している。又ダイオードD1、D2は、受話部3及び送話器2に直流電流を流し、通話中であることを知らせるものである。ダイオードACスイッチDIACは送話器2の音量を調整するものである。

【0011】制御装置9は切換スイッチ7を介してダイヤルキー6の各開閉信号を入力し、各キー符号に応じて読出制御信号を記憶装置10に与える回路である。記憶装置10は応答に必要な各種の音声メッセージを記憶したメモリで、例えば書き換え可能な不揮発性メモリにより構成される。記憶装置10は制御装置9から読出制御信号が与えられると、そのアドレスに応じて特定の音声メッセージを送話器2に出力する。

【0012】このように構成された本実施例の電話機の動作について説明する。電話機1を用いて相手呼び出すには、切換スイッチ7をダイヤル信号発生器8側に切り換える。次にダイヤルキー6を用いて電話番号を入力すると、ダイヤル信号発生器8からトーンパルスが出力され、端子L1、L2を介してその信号が送出される。相手側との接続が行われ、送話器2を用いて音声を入力すれば、その音声信号は直接送信される。又受信側のコンピュータと介在して各種のデータを送出する場合、再びダイヤルキー6を操作すれば、ダイヤル信号発生器8から数字又は文字を含む符号が出力される。

【0013】次に電話機1が受信側となる場合、着信呼び出しがかかると、コンデンサC1及びベル4に電流が流れ、ベル4が鳴動する。このとき送話器を外すとフックスイッチSW1、SW2がオンとなる。受信側の電話機1の使用者が声を出して対応できない場合、受話部3から出力される送信者の話を聞き、その話の内容と合致する応答内容を選択する。このとき切換スイッチ7を制御装置9側に切り換え、ダイヤルキー6の信号を制御装置9に入力する。

【0014】例えば受信側の受話部3から「Aさんはいらっしゃいますか・・・」と出力されれば、ダイヤルキー6の特定キーを押圧すると、記憶装置10は「只今会

議中ですので、終わり次第当方から電話を差し上げます。・・・」等の音声メッセージを出力する。こうして必要な応答を送信側に返送することができる。

【0015】このように切換スイッチ7を受信者の状況に応じて切り換えることにより、音声を直接送出したり、記憶装置10に登録した音声メッセージを送信することができる。このようにすると重要な相手と交信の機会を逃したり、受信時の会話により周囲へ迷惑をかけるという欠点を解消することができる。

【0016】

【発明の効果】以上の説明のように本発明によれば、音声メッセージを記憶する記憶装置と、その内容を通話中に出力するよう指示する切換スイッチを設けたことにより、電話の受信者が周囲の状況から声を出して応答できない場合にでも、送信者の話に対応した音声メッセージを返すことができる。このため周りの人への迷惑を防止する効果が生まれる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例における電話機の主要部の回路構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

- 1 電話機
- 2 送話器
- 3 受話部
- 4 ベル
- 5 全波整流回路
- 6 ダイヤルキー
- 7 切換スイッチ
- 8 ダイヤル信号発生器
- 9 制御装置
- 10 記憶装置
- L1、L2 端子
- SW1、SW2 フックスイッチ
- Ca、Cb コイル
- D1、D2 ダイオード
- C1、C2 コンデンサ
- R 抵抗
- DIAC ダイオードACスイッチ

【図1】

